



TLS 1.2 設定概要ガイド

初版：2018年4月20日

最終更新日：2018年6月4日

概要

セキュリティまたはコンプライアンス上の理由から、管理者は多くの Cisco コラボレーション製品の TLS バージョンを 1.2 に制限し、TLS 1.0 および TLS 1.1 を無効にすることができます。TLS 1.2 の有効化および TLS 1.0 または 1.1 の無効化に関する概要、考慮事項、および影響については、<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-system/products-configuration-examples-list.html> にある「オンプレミス Cisco コラボレーション導入のための TLS 1.2」を参照してください。

このドキュメントでは、Cisco コラボレーション製品において TLS 1.2 を有効にし、TLS 1.0 および 1.1 を無効にする方法の概要を説明します。また、関連する製品ドキュメントへの参照も提供しています。

設定

次の表は、Cisco コラボレーション製品で TLS 1.2 を構成する方法を示しています。

前提条件: TLS 1.2 用に製品を設定する前に、製品のバージョンで TLS 1.2 を有効にし、TLS 1.0 と 1.1 を無効にできることを確認してください。この機能を持つ製品バージョンのリストについては、*Cisco コラボレーション製品の TLS 1.2 互換性マトリックス*：

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/unified/communications/system/Compatibility/TLS/TLS1-2-Compatibility-Matrix.html を参照してください。

注: 以下の製品については、TLS 1.2 を設定し、TLS 1.0 および 1.1 を無効にすることができます。この設定は任意の順序で行えます。

表 1. TLS 1.2 用にコラボレーション製品を構成する

製品	TLS 1.2 の設定方法	製品ドキュメントへの参照
コール制御		
Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service	CLI コマンドを使用する： <code>set tls min-version <1.0 1.1 1.2></code>	<i>Cisco Unified Communications Manager 向けセキュリティガイド</i> 、リリース 11.5(1)SU3 以降の「TLS セットアップ」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html)。

Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony	CLI コマンドを使用する : sip-ua transport tcp tls [v1.0 v1.1 v1.2]	Cisco Unified SCCP および SIP SRST システム 管理者ガイド (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-survivable-remote-site-telephony/products-installation-and-configuration-guides-list.html) 。
会議		
Cisco Meeting Server	CLI コマンドを使用する : tls <sip ldap webadmin> min-tls-version <1.0 1.1 1.2>	Cisco Meeting Server MMP コマンド ライン リファレンス ガイド、リリース 2.3 以降 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/meeting-server/products-programming-reference-guides-list.html) 。
Cisco Meeting Management	コマンドは不要です。 TLS 1.1 および 1.0 は無効になっています。	Cisco Meeting Management 1.0.1 リリース ノート: https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/conferencing/Cisco-Meeting-Management/Release-Notes/Cisco-Meeting-Management-Release-Notes-1-0-1.pdf 。
Cisco TelePresence Management Suite	Windows レジストリを編集します。	Microsoft のドキュメントを参照してください。 例 : https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/windows/it-pro/windows-server-2012-R2-and-2012/dn786418(v=ws.11) 。
Cisco TelePresence Management Suite Extension for Microsoft Exchange	Windows レジストリを編集します。	Microsoft のドキュメントを参照してください。 例えば、 https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/windows/it-pro/windows-server-2012-R2-and-2012/dn786418(v=ws.11) 。
Cisco TelePresence Conductor	XC4.3.2 では、TLS 1.0/1.1 はデフォルトで無効になっています。	Cisco TelePresence Conductor XC4.3.2、 リリースノートは、 https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/infrastructure/conductor/release_note/TelePresence-Conductor-Release-Notes-XC4-3-2.pdf で入手できます。 Cisco TelePresence Conductor 管理者ガイド、 XC4.3.2 以降 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/telepresence-conductor/products-maintenance-guides-list.html) 。

エンタープライズエッジ		
Cisco Expressway シリーズ	製品のウェブ UI の メンテナンス > セキュリティ > 暗号 ページで、各サービスの暗号スイートとサポートされる最小 TLS バージョンを設定できます。	<i>Cisco Expressway 管理者ガイド (X8.10)</i> 以降 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/expressway-series/products-maintenance-guides-list.html)。
Cisco Unified Border Element (CUBE)	CLI コマンドを使用する： sip-ua トランスポート tcp tls [v1.0 v1.1 v1.2]	<i>Cisco Unified Border Element 設定ガイド</i> (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/voice/cube/configuration/cube-book/voice-cube-sip-tls.html)。
SIP PSTN ゲートウェイ	CLI コマンドを使用する： sip-ua トランスポート tcp tls [v1.0 v1.1 v1.2]	<i>Cisco Unified Border Element 設定ガイド</i> (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios-xml/ios/voice/cube/configuration/cube-book/voice-cube-sip-tls.html)。
サーバアプリケーション		
Cisco Emergency Responder	12.0(1)SU1 より前のバージョンでは、cop ファイルをインストールしてください。 12.0(1)SU1+ の場合は、以下の CLI コマンドを仕様してください。 set tls min-version<1.0 1.1 1.2>	<i>Cisco Emergency Responder リリースノートバージョン 12.0(1)SU(1)</i> 以降 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/emergency-responder/products-release-notes-list.html)。
ボイスメールとメッセージング		
Cisco Unity Connection	以下の CLI コマンドを使用してください。 set tls min-version<1.0 1.1 1.2>	<i>Cisco Unity Connection のセキュリティ ガイド</i> リリース 12.x 以降の「Cisco Unity Connection に必要な IP 通信」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-user-guide-list.html)。

エンドポイント		
Cisco IP 電話 7800 および 8800 シリーズ	Cisco Unified CM から、「Disable TLS 1.0 and TLS 1.1 for Web Access」を「enabled」または「disabled」に設定します。	<p><i>Cisco Unified Communications Manager</i>、リリース 11.5(1)SU3 以降の「TLS セットアップ」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html)。</p> <p><i>Cisco IP 電話 7800 シリーズ アドミニストレーション ガイド (Cisco Unified Communications Manager 用)</i> の「Cisco IP 電話の管理」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-maintenance-guides-list.html)。</p> <p><i>Cisco IP 電話 8800 シリーズ アドミニストレーション ガイド (Cisco Unified Communications Manager 用)</i> の「Cisco IP 電話の管理」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-8800-series/products-maintenance-guides-list.html)。</p>
Cisco TelePresence SX/MX/DX シリーズ (CE ソフトウェア 搭載)	CE8.1.0 以降、TLS 1.0 は常に無効になっています。TLS 1.1 を無効にするには、エンドポイントの Web インターフェイスで、 設定 > 構成 > ネットワークサービス > ServerMinimumTLSVersion に移動します。	Cisco TelePresence SX、MX、および DX シリーズ、コラボレーションエンドポイントソフトウェア 8 リリースノート: https://www.conferenceroomav.com/pdf/ce-software-release-notes-ce8%20collaboration%20software.pdf .
Cisco Webex Room Kit & Plus	TLS 1.0 は常に無効になっています。TLS 1.1 を無効にするには、エンドポイントのウェブ インターフェイスで、 [セットアップ (Setup)] > [設定 (Configuration)] > [NetworkServices] > [ServerMinimumTLSVersion] に移動します。	https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-room-kit/model.html https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/spark-room-kit-plus/model.html
TC ソフトウェアを実行している Cisco TelePresence C/SX/EX/MX/Profile シリーズ	HTTPS ウェブインターフェイスでは、TLS 1.0 は常に無効になっています。TLS 1.1 と TLS 1.2 は常に許可されています。	<i>Cisco TelePresence System C/SX/EX/MX/Profile シリーズ ソフトウェア リリース ノート TC 7</i> (https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/telepresence/endpoint/software/tc7/release_notes/tc-software-release-notes-tc7.pdf)。
Cisco TelePresence IX5000	IX 8.2.2 以降、TLS 1.0 と 1.1 はデフォルトで無効になっています。	<i>Cisco TelePresence システムソフトウェアリリース IX 8 のリリースノート</i> (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/telepresence/ix_sw/8_x/release/notes/ix_release_notes.html)。
Cisco Jabber	適用なし TLS サーバインターフェイスはありません。	https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/jabber/index.html

サービス管理		
Cisco Prime Collaboration (プロビジョニング)	TLS サーバインターフェース (HTTPS) では、TLS 1.0 および 1.1 は無効になっています。	https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-collaboration/tsd-products-support-series-home.html
Cisco Prime Collaboration (導入)	以下の CLI コマンドを使用してください。 set tls min-version<1.0 1.1 1.2>	Cisco Prime Collaboration Deployment アドミニストレーションガイド、リリース 12.0(1) 以降の「最小 TLS バージョン管理」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html)。
Cisco Prime License Manager	CLI コマンドを使用する : set tls min-version<1.0 1.1 1.2>	Cisco Prime License Manager ユーザーガイド、リリース 11.5(1)SU2 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-license-manager/products-user-guide-list.html)。
通信ゲートウェイ		
STC アプリと Cisco VG シリーズゲートウェイ	以下の CLI コマンドを使用してください。 stcapp security tls-version v1.2	Cisco 4000 シリーズISR ソフトウェア構成ガイド、Cisco IOS XE Fuji 16.7.x 以降の「音声機能の設定」の章 (https://www.cisco.com/c/en/us/support/routers/4000-series-integrated-services-routers-isr/products-installation-and-configuration-guides-list.html)。
その他		
IOS MTP/CFB	以下の CLI コマンドを使用してください。 dspfarm profile <n> conference security tls-version <v1.0 v1.1 v1.2>	Cisco 4000 シリーズISR ソフトウェア構成ガイド (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/routers/access/4400/software/configuration/xe-16-7/isr4400swcfg-xe-16-7-book/configuring_voice_functionality.html)。

ドキュメントの変更

表 2. ドキュメントの変更

日付 (Date)	変更内容 (Change)
2018 年 6 月 4 日	Cisco IP Phone 7800 シリーズと 8800 シリーズを一覧表に追加しました。 製品名を Cisco Spark から Cisco Webex に変更しました。

マニュアルの入手方法およびサービスリクエストの送信方法

ドキュメントの入手方法、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用方法、サービスリクエストの送信方法、追加情報の収集方法については、[「Cisco 製品の.new機能に関するドキュメント」](#)を参照してください。

新規および改訂された Cisco の技術コンテンツをデスクトップで直接受け取るには、「[Cisco 製品の.new機能ドキュメント RSS フィード](#)」を購読してください。RSS フィードは無料のサービスです。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている式、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。CISCO およびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

★定型★このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。★定型★マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

すべての印刷されたコピーおよび複製されたソフトコピーは管理外のコピーと見なされ、元のオンラインバージョンを参照して最新版を確認する必要があります。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。住所、電話番号、FAX 番号は、Cisco の Web サイト www.cisco.com/go/offices に掲載されています。

Cisco および Cisco ロゴは、米国およびその他の国における Cisco および/またはその関連会社の商標または登録商標です。Cisco の商標一覧を表示するには、次の URL にアクセスしてください: www.cisco.com/go/trademarks。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。